

「道路メンテナンス技術集団」の一員として

直轄診断報告会に職員を派遣

音沢橋（富山県黒部市）の直轄診断の報告会が、平成 30 年 2 月 22 日（木）に開催され、土木研究所から専門家として構造物メンテナンス研究センターの玉越上席研究員を派遣しました。

直轄診断は「橋梁、トンネル等の道路施設については、各道路管理者が責任を持って管理する」という原則の下、それでもなお、地方公共団体の技術力等に鑑みて支援が必要なもの（複雑な構造を有するもの、損傷の度合いが著しいもの、社会的に重要なもの、等）に限り、国が地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人土木研究所の職員で構成する「道路メンテナンス技術集団」を派遣し、技術的な助言を行うものです。

■音沢橋（富山県黒部市）

報告会開催日：平成 30 年 2 月 22 日（木）

直轄診断実施日：平成 29 年 11 月 22 日（水）

派遣者：構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ 玉越上席研究員

■道路メンテナンス技術集団メンバー

北陸地方整備局 道路部 道路保全企画官

国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室長

国立研究開発法人土木研究所 構造物メンテナンス研究センター 橋梁構造研究グループ 上席研究員 他

構造物メンテナンス研究センター（CAESAR）<https://www.pwri.go.jp/caesar/index-j.html>

H29.11.20、H29.11.22 に「道路メンテナンス技術集団」の一員として職員を派遣、直轄診断を実施

<https://www.pwri.go.jp/caesar/profile/03-06.html>

記者発表資料（北陸地方整備局）：<http://www.hrr.mlit.go.jp/press/2017/02/180216dourobu.pdf>



音沢橋外観（平成 29 年 11 月 22 日直轄診断の様子）



メンテナンス技術集団から管理者への報告



管理者に説明を行う玉越上席研究員